

本県の教育の動向について

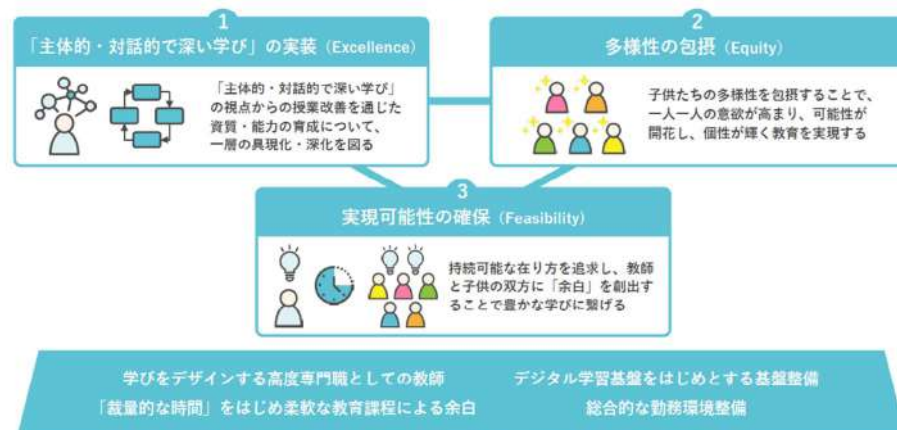


義務教育課HP

兵庫県教育委員会



次期学習指導要領に向けた基本的な考え方
～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～



多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに



生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む



第4期ひょうご教育創造プラン(R6年度～R10年度)

「兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり」

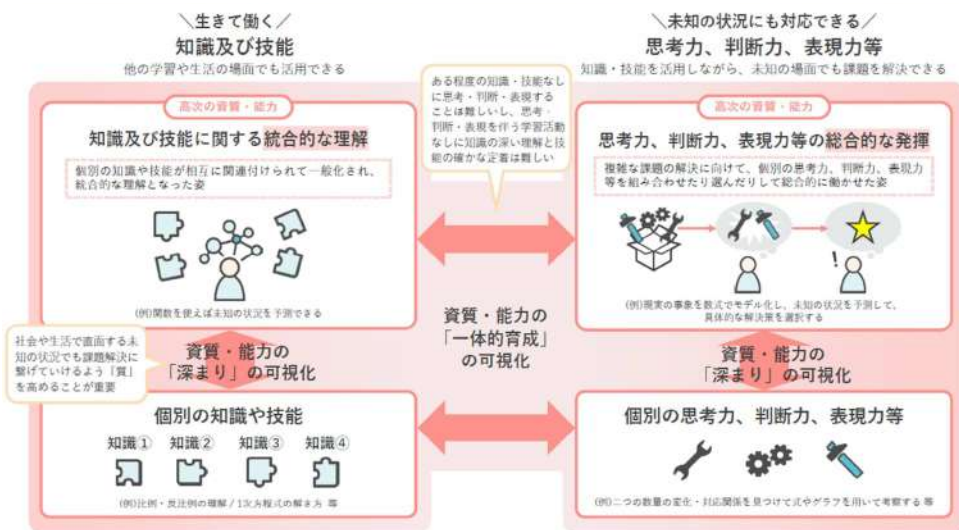
(第4期重点テーマ)

— 「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成—

- ◇基本方針1
予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進
- ◇基本方針2
すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築
- ◇基本方針3
安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点

2. 「深い学び」を実現するための分かりやすい学習指導要領に向けた工夫とは？



初等中等教育分科会

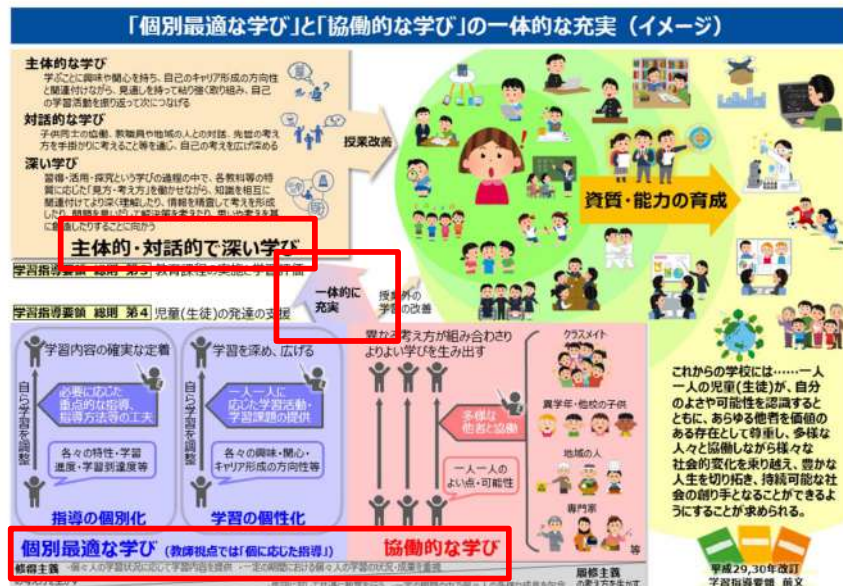
教育課程

教育課程部会

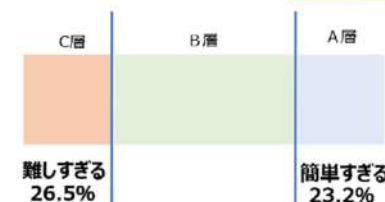
- 教育課程企画特別部会
- 総則・評価特別部会
- 幼児教育ワーキンググループ
- 特別支援教育ワーキンググループ
- 産業教育ワーキンググループ
- 国語ワーキンググループ
- 外国語ワーキンググループ
- 社会・地理歴史・公民ワーキンググループ
- 算数・数学ワーキンググループ
- 理科ワーキンググループ
- 体育・保健体育・健康・安全ワーキンググループ
- 芸術ワーキンググループ
- 家庭ワーキンググループ
- 生活・総合的な学習・探究の時間ワーキンググループ
- 特別活動ワーキンググループ
- 道徳ワーキンググループ
- 情報・技術ワーキンググループ
- 不登校児童生徒に係る特別的教育課程ワーキンググループ
- 特定分野に特異な才能のある児童生徒に係る特別的教育課程ワーキンググループ



文部科学省
中央教育審議会
初等中等教育分科会

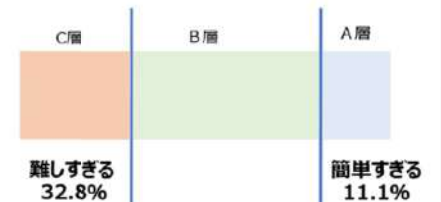


授業の理解度には大きな差がある



【注】この調査は、学習指導要領の改訂に関する調査（国語）の結果を示している。

授業の理解度には大きな差がある

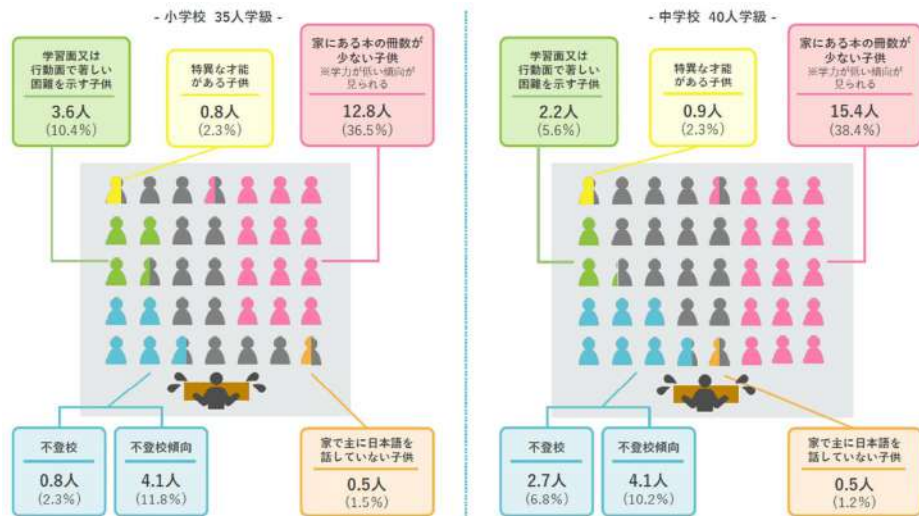


【注】この調査は、学習指導要領の改訂に関する調査（国語）の結果を示している。

視覚優位、言語優位、聴覚優位、体感覚優位など
子供たちの認知の特性は様々

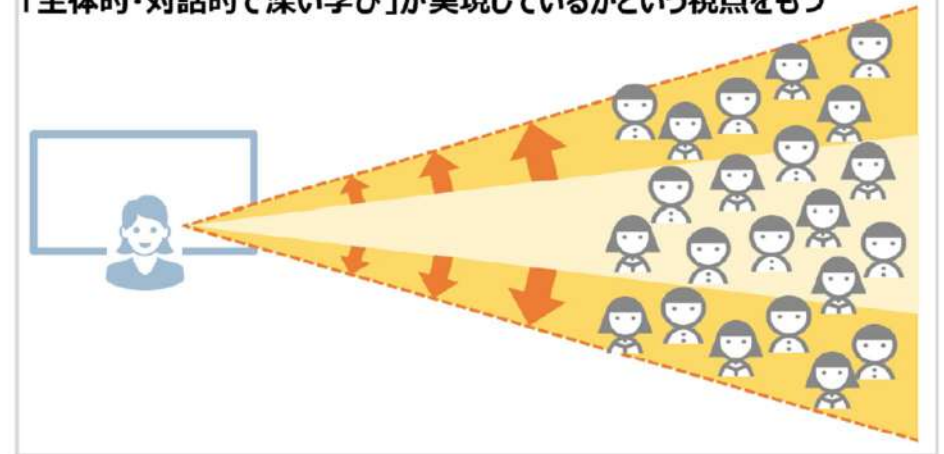


『みるみる 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのサポートマガジン』
(文部科学省) より



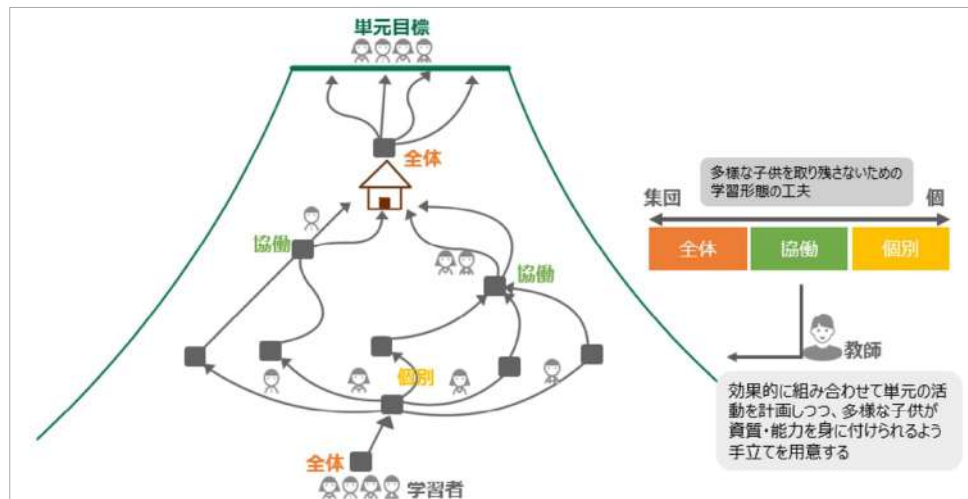
教育課程企画特別部会 論点整理 ポイント資料より抜粋

誰一人取り残さず全ての子供たちに
「主体的・対話的で深い学び」が実現しているかという視点をもつ



『みるみる 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのサポートマガジン』（文部科学省）より

「子どもに委ねる」のが良いか「教師が教える」のが良いか
という二項対立ではない



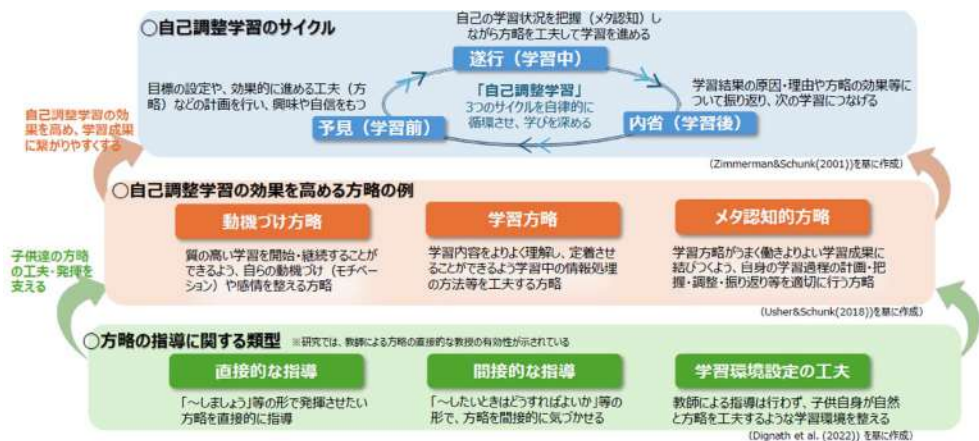
『みるみる 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのサポートマガジン』（文部科学省）より

初歩の学習者と上達した自己調整学習者の比較

自己調整の段階	自己調整学習の区分	
	初歩の自己調整学習者	上達した自己調整学習者
予見 (学習前)	漠然とした目標 ご褒美や他者より高い成績を得ることを重視 学習に不安を抱き、学習を避ける 課題やスキルに関心がない	具体的で順序立てられた目標 自分の能力を高めることを重視 高い学習意欲 課題に強い興味を持ち、積極的に取り組む
遂行 (学習中)	動揺しやすい、周りの環境に影響される 失敗に備えて言い訳を用意したり、自らハードルを下げたりする 自分の行動を振り返らず結果を過大評価する	学習に集中する 課題の進め方を言葉にしたり、情報を視覚的にイメージしたりするなど方略を意識して学習を進める 自分の行動を振り返りながら学習方法を見直す
内省 (学習後)	自己評価を避け、他者との比較をする マイナスの結果を自分の能力のせいにし、その後の学習方法の改善を行わない	自己評価を行う マイナスの結果を学習方法や練習量に照らして振り返り、改善を行う

中央教育審議会 初等中等教育分科会 第4回総則・評価特別部会（令和7年12月15日）資料より

自己調整学習のサイクルや、それを促進する要素等に関する研究上の知見



中央教育審議会 初等中等教育分科会 第4回総則・評価特別部会（令和7年12月15日）資料より

教師による自己調整学習の促進の例



自己調整学習を促進する教師の関与の類型

- ① 直接的な方略指導：教師が方略を意図的に指導することで、児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
- ② 間接的な方略指導：教師は特定の方略を明示しないが、問いかけ等を通じて児童生徒の方略に対する認識と、具体的な行動を促す
- ③ 学習環境設定の工夫：児童生徒が自己調整学習を行う必要がある環境を設定し、児童生徒が自然と方略を工夫していくことを促す

子供が自ら学習を調整しながら学びを進めるための学校現場の実践例

単元や題材の設計

- 子供達が意欲的に取り組むことができ、全ての子供が育成したい資質・能力を育むことができるような単元や題材の設計
- 単元全体の目標や内容、流れを子どもと共有することで学習の見通しの明確化
- 個別・協働・一斉といった学習活動の効果的な配置

多様な学習材料の提供 足場かけの準備

- 子どもが自分の力で学ぶことができ、自らにとって学びやすいものを選択できる多様な材料の提供
- 子どもの特性や学習スタイルに応じて選択できる多様な学習材料の提供
- 学習の見通しを持つことや学習の進捗状況の把握、学習の振り返りがしやすい学習材の開発 等

学習環境の整備

- 安心して学習に取り組める空間づくり
- デジタル学習基盤も活用しながら、生徒間や外部との協働を通じた学びの深まりや、生徒自身が学習に必要な情報に必要なタイミングでのアクセスを可能とする 環境づくり 等

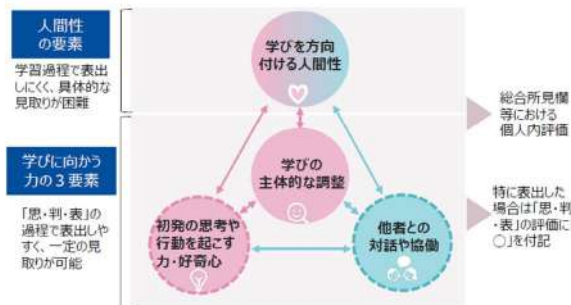
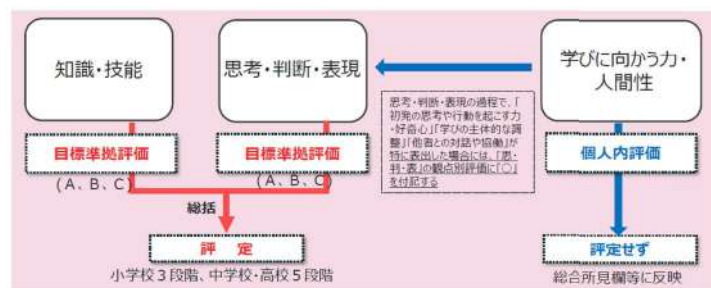
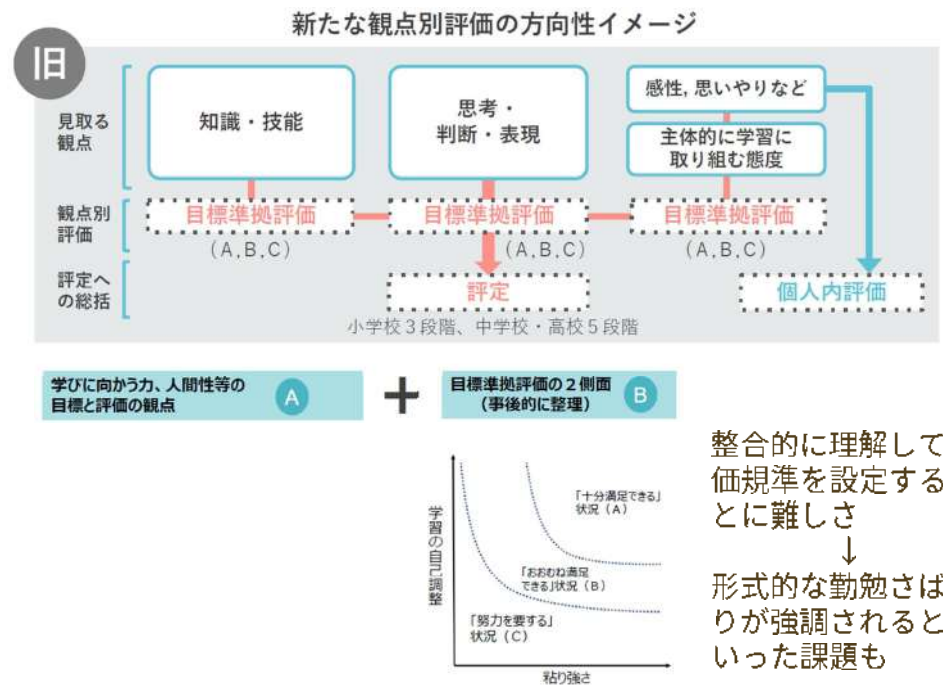
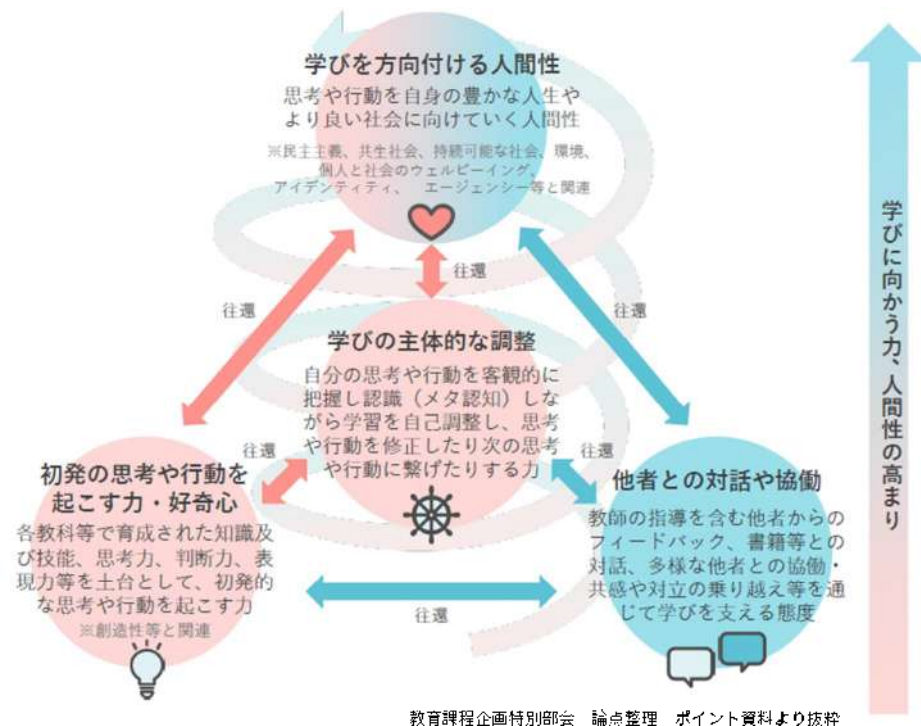


中央教育審議会 初等中等教育分科会 第4回総則・評価特別部会（令和7年12月15日）資料

認知心理学の知見に基づく効果的な学習方略の例

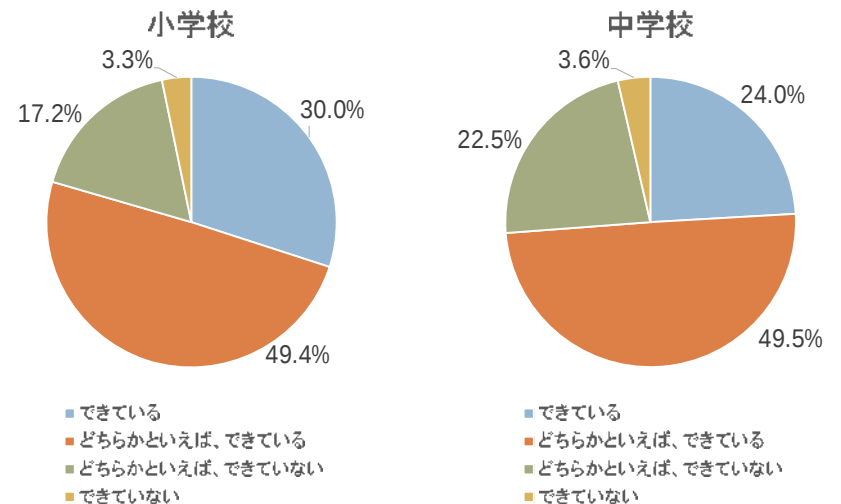


(Weinstein et al. (2018)) で報告されている、研究一貫して良い効果が見られる8つの効果的な学習方法について、「認知心理学が教える最強の学習法」にジェラルディナフ（東京書籍）を参考に文部科学省委任

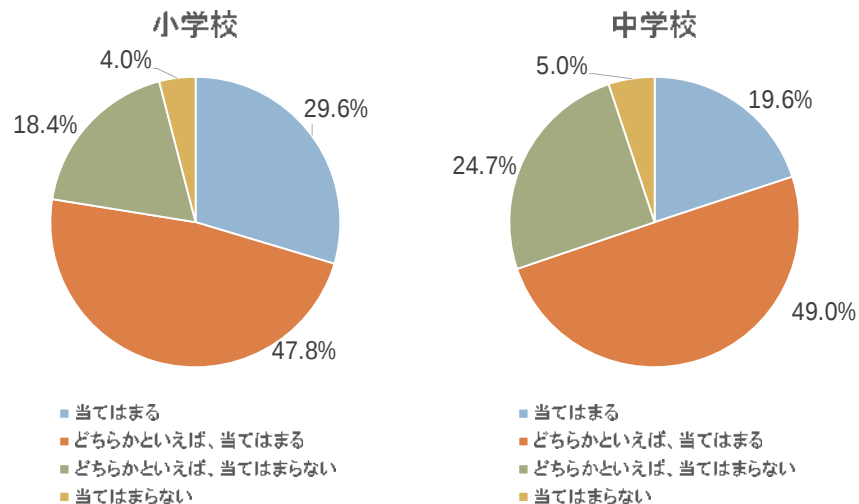


独立した観点としては、評価に影響を与えないだけで、
評価をしないというわけではない

分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか。

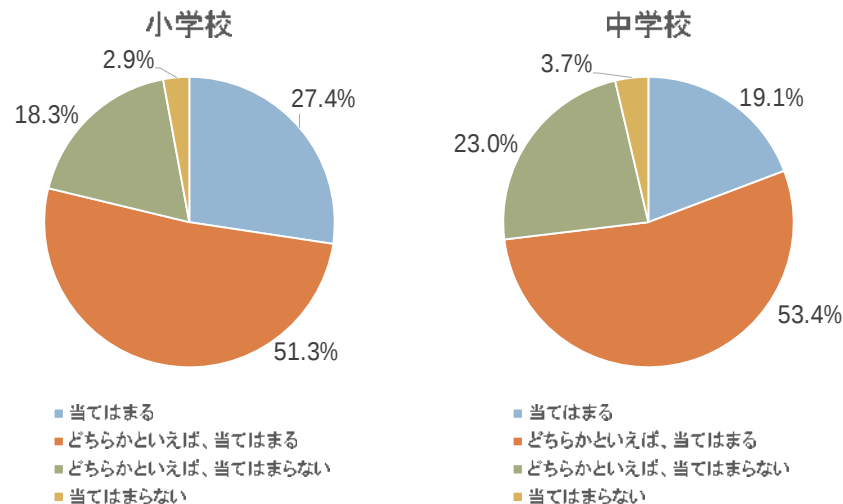


学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



令和7年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査 兵庫県結果

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



令和7年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査 兵庫県結果

学校が再び休校になった場合に 自律学習を行う自信があるか

	とても自信がある	自信がある	あまり自信がない	自信がない
1. ビデオ会議システムを使う	20.9	36.0	21.7	21.5
2. 学習管理システム又は学校学習プラットフォームを使用する	17.2	31.1	26.7	25.0
3. 自力で学校の勉強をこなす	9.4	32.2	38.2	20.2
4. 自分で学校の勉強をする予定を立てる	9.2	27.5	38.8	24.5
5. 言われなくても学校の勉強にじっくり取り組む	9.4	27.1	39.0	24.5
6. 自分の学習の進み具合を評価する	8.2	26.5	43.2	22.1
7. 学校の勉強をするやる気を出す	8.9	25.0	40.0	26.1
8. 自分でオンラインの学習リソースを探す	10.4	22.2	38.5	28.9

(%)

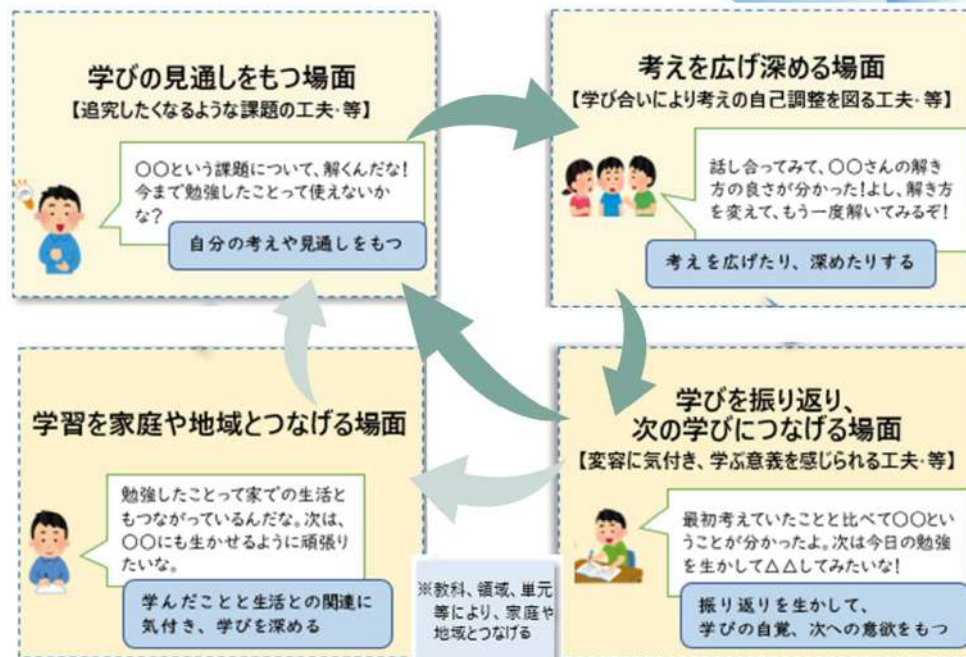
上記8項目を指標化して比較

※OECD加盟国37か国の平均値が0.0、標準偏差が1.0となるよう標準化されており、値が大きいほど、自律学習に対する自己効力感(自信)が高い。

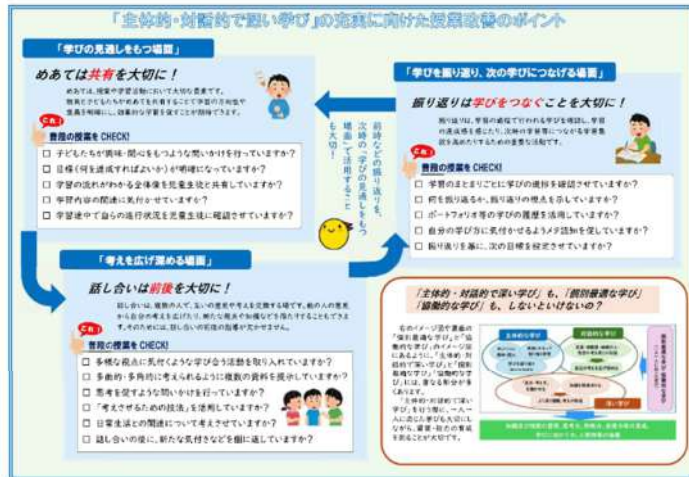
OECD平均	0.01
日本(34/37位)	-0.68

中央教育審議会企画特別部会における資料
文部科学省・国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査PISA2022」のポイントをもとに作成されたもの

「学びに向かう力」と学習過程



リーフレット 「普段の学びに『これ!』を加えて 主体的・対話的で深い学び」



「学びのデジタルガイド」

先生向け

② 全国学力・学習状況調査を踏まえた学習指導の改善・充実のポイント

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善事例を紹介!

授業改善へのステップアップ!

教員用 **学びのデジタルガイド**

NEW

小学校算数: 「分・数」

中学校算数: 「南北緯から緯度をとり解く変化」

国語 算数 理科 英語 探究的な学習

授業と日常生活をつなぐ動画などを紹介! 家庭学習や自由研究に!

児童生使用 **学びのデジタルガイド+プラス**

学びを日常生活と結び付ける

NEW

小学校国語: 今日は何をする? というものを書こう

中学校数学: 複方根乗法の「タンゴ・タノ」の性質

兵 庫 県 教 育 会 公 会



課題に対応した指導の工夫

2025 中学校 数学

2年 「式の計算」 (A数と式)

本事例に関係する全国学力・学習状況調査から見られた課題

設問6 (2)

式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題が見られました。
(正答率 兵庫県:26.4% 全国:25.7% 無回答率 兵庫県:26.0% 全国:24.9%)

- 単元目標
- 具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取りたりすることができる。(知識及び技能)
 - 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。(思考力、判断力、表現力等)
 - 文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとして、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしてすることができる。(学びに向かう力、人間性等)

学びに向かう力の養成に向けた学習の流れ (本時11時間目/全12時間)

学びの見通しをもつ	身近なことから、事象を数学的に考察する場面において、事象の特徴を的確に捉える。	ある2けたの整数があります。十の位と一の位の数を入れ替えた数との差は27になります。元の数はいくでしょう。
考えを広げ深める	2けたの整数を文字で表す方法を考え、事柄が成り立つ理由を説明し合う。	十の位をa、一の位をbとして表すとすると、aは10倍するから10a+bと表すことができるね。
学びを振り返り、次の学びにつなげる	9(a-b)の式の意味を考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する。	9×(a-b)=9×(整数)だから、9の倍数になるね!

2025 中学校 数学 『このような授業にしていきたいと思います!』



追究したくなるような「見方・考え方」に通じさせる課題の工夫 (学びの見通しをもつ場面)

2年 「式の計算」 (A数と式)

身近な事柄を提示し、事象を数学的に考察する場面において、事象の特徴を的確に捉えられるようにする。(その3)

全体で考える場面

それでは、9の倍数になると言い切ってもいいですか?

残しも全部調べてみようか?

たくさんあるから、全部調べるのは大変だね。

何かいい方法はないでしょうか?今までに学習したことを思い出してみましょう。

何かわかりますか?

文字を使って表してみるといいかもしれない!

文字?

はい、その通り。文字です。文字を使って説明していきましょう。

課題 2けたの整数と、その数の十の位と一の位を入れかえた数の差は9の倍数になる。

2025 小学校 理科 「このような授業にしていきたい」

振りやりなどで「見方・考え方」を学ぶ意義を感じさせる工夫 (学びを振り返り、次の学びにつなげる場面)

5年「植物の発芽と成長」(生命)

学びをつなぐ「新たな問い」

実験の結果を振り返ってみましょう。

新たな問い

あれ？暖かくて暗いところに置いていた種子も発芽するんだね。もしかしたら、光は発芽に関係しないのかもしれないな。

光の条件だけ違って、水や空気、温かさの条件が同じになっているものを比べると光が発芽に関係するかどうかわかりそうだね。

発芽に適した温度があるみたいだね。種子の発芽には、温度が関係していたね。

植物には、発芽に適した温度があることがわかりましたね。この実験で気になることはないかな？

新たな問い

あれ？暖かくて暗いところに置いていた種子も発芽するんだね。もしかしたら、光は発芽に関係しないのかもしれないな。

光の条件だけ違って、水や空気、温かさの条件が同じになっているものを比べると光が発芽に関係するかどうかわかりそうだね。

植物の発芽に必要なものを調べ、実験の方法や結果を適切に記録している。

植物の発芽について予想や仮説をもち、条件に基きながら解決の方法を発見し、整理している。

兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査との関連

2025 中学校 国語

3年 書くこと「批評文を書こう」

本事例に関連する全国学力・学習状況調査から見た課題

設問3四
文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題が見られました。
(正答率 兵庫県:14.9% 全国:17.1%)

兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査との関連

問題番号五 問六
文章の構成や論理の展開、表現の仕方を基に文章の内容を捉える力に課題が見られました。
(正答率:48.6%)

単元目標
・具体と抽象など、情報と情報との関係について理解を深めることができる。
・自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう、自分や友達の文章の良い点・改善点などを見つけることができる。
・自分の考えが分かりやすく伝わるように、表現や構成を工夫して批評文を書こうとしている。

(知識及び技能(2)ア)
(思考力、判断力、表現力等 B(1)ウ・オ)
(学びに向かう力、人間性等)

学びに向かう力の醸成に向けた学習の流れ(単元)

学びの見直しをもつ
批評する題材を選び、批評するための見直しと意欲をもち、観点を決めて分析する。

キャサコビーとは、短い言葉で興味を引き付けたり、印象付けたりする宣伝文句のことを言うんだね。

考えを広げ深める
構成を意識して批評文を書き、読み合うことを通して自分の伝えたいことが読み手に伝わっているかを確認し、表現を吟味する。

私は、優しさの中に少し暗さを感じたので、そう感じた理由について説明したいのかな。

学びを振り返り、次の学びにつなげる
書く活動を振り返ることを通して、よりよい表現の仕方を確認する。

他の人は、ボスターの言い方だけでなく、改善点や問題点についても具体的に指摘していて、良かったです。僕も批判的に見ることを意識していきたいです。

2025 中学校 国語

兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査との関連

本事例に関連する全国学力・学習状況調査から見た課題

設問3四
文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題が見られました。
(正答率 兵庫県:14.9% 全国:17.1%)

兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査との関連

問題番号五 問六
文章の構成や論理の展開、表現の仕方を基に文章の内容を捉える力に課題が見られました。
(正答率:48.6%)

全国学力・学習状況調査・兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査 いずれも**思考力・判断力・表現力等**を問う問題

問題を解けるようにするためではなく、
**思考力・判断力・表現力等を育むための
授業改善のポイント**として掲載

学びを振り返り、次の学びにつなげる

書く活動を振り返ることを通して、よりよい表現の仕方を確認する。

他の人は、ボスターの言い方だけでなく、改善点や問題点についても具体的に指摘していて、良かったです。僕も批判的に見ることを意識していきたいです。

兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査との関連

2025 中学校 国語

兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査からわかる課題について

問題の概要

問題番号五 問六
本文中の

人間は、他の動物に比べて、非常に大きく可能性を余らせている存在であり、だから運命を生きている一方で、やはり動物なので、目的を最短で達成しようとする傾向もある。この二つが綱引きをする。

このような授業が求められています

論理的な思考を基にして書く活動を通して、文章の構成や論理の展開、表現の仕方を工夫するために、文章の内容を捉える力を付ける授業が求められています。



このような授業が求められています

論理的な思考を基にして書く活動を通して、文章の構成や論理の展開、表現の仕方を工夫するために、文章の内容を捉える力を付ける授業が求められています。



「学びのデジタルガイドプラス」

児童生徒向け

 追究したくなるような「見方・考え方」に通じさせる課題の工夫（学びの見通しをもつ場面）

3年 書くこと「批評文を書こう」

批評する題材を選び、批評するための見通しと意欲をもち、観点を決めて分析する。

多くの人が目にするポスターには、伝えたいことを効果的に伝えるための様々な表現の工夫があります。それらの工夫について観点ごとに分析し、どのような特徴があるのか、どのような効果があるのかを見つけ、自分の言葉で説明しましょう。

キャッチコピーとは、短い言葉で興味を引き付けたり、印象付けたりする宣伝文句のことを言うんだね。

(例) 右のポスターから特徴や効果を見つけ、下の表を参考に観点を立てて情報を整理しましょう。

観点 (例)	分析した内容 (例)
キャッチコピー	「小さな日常」という言葉に親近感がわく。
構図	乗務員と乗客のふれあいをメインにして、右下に運転している姿と詳しい情報を載せている。
広告のねらい	バスが日常に欠かせないものだと伝えている。
印象	笑顔の乗務員と田舎の風景が優しいイメージを与える。
色合い	モノトーンの中にオレンジが目立つ。

観点を立てて分析し、複数の情報を整理することができる。

[illegible]

《出典：公営化担当人、片津崇・VX協会、片津崇交通政策部》、VX運輸士協会、ボスア-

活動

全国学力・学習状況調査の結果／授業準備や校内研修に役立つ資料

普通數理 算術數理

「学びのデジタルガイド」「学びのデジタルガイドプラス」
(令和4年度～)

●『喜びのデジタルカイド』『喜びのデジタルカイドプラス』

「學力向上指導資料」

※「全国学力・学習状況調査の課題を踏まえた学習指導等の改善・充実のポイント」「学びのデジタルガイドプラス」として掲載しています。

- 教員採用リーフレット「高校の学びにこれ」を拡充して、主体的・対話的で深い学びの観点から、各教科の授業の特色を掲載し、学校説明書の代わりとして活用する。
- 令和3年度全学力・学習状況調査の結果に基づいた学習指導要領の改訂、教科書改訂の進捗状況について、関係機関と連携し、関係機関への説明を行う。
- 令和3年度、小・中学校における新型コロナウイルス感染症の感染に際する対応について、関係機関と連携し、関係機関への説明を行う。

ICTを活用した小・中学校の指導事例

教育訓練 學術研究

ICTを授業で効果的に活用するにはどうしたらいいの？



兵庫県では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、1.主体的な学びに結びつけた積極的な参画型学習の展開を促しています。ここでは、県内の小・中学校から集めた各教科でITを活用した指導事例を紹介していきます。今の時代 demands されている主体的・対話的で深い学びを実現するため、「個別最適な学び」「協働的な学び」を一歩的に推進させるヒントとなる事例です。各学校の実践を参考に、実際に合わせた学習型なITの活用を始めてください。

小学校

EQU

100



義務教育課HP

ひょうご学力向上実践推進委員会

全国学力・学習状況調査結果を踏まえた指導資料の内容検討
「学びのデジタルガイド」「学びのデジタルガイドプラス」の作成等

事務局

指導資料
作成部会

提案
授業改善

施策への反映

方向性等

現状の把握 学力向上方策の検討 同知・発信方法の検討
学習習慣の充実・定着に向けた取組の検討
市町・地域・家庭との連携の在り方の検討 等

実践報告 授業改善プラン

方向性、事例発信、支援等

各地域における学力向上方策の検討、好事例等の共有等

実践報告、授業改善プラン等

実践報告、授業改善プラン等

方向性、事例発信、支援等

保護者・地域等

「なぜ」今の子ども達にとって
兵庫型「体験教育」が必要なのか？

- ＊少子化や人口減少により、家庭や地域での**体験の機会が減少**している
- ＊情報化社会により、**つながりがグローバル化**している
- ＊コロナ禍を経験したことにより、**夢や目標をもてない子ども**が一定程度いる
- ＊SNSやAIの普及等により、**人間関係が希薄化・固定化**してきている
- ＊変化の激しい社会において、**仲間と力を合わせて課題を解決する力**が求められている

兵庫型「体験教育」を取り巻く社会の変化

- さまざまな世界情勢による物価の高騰
新型コロナウイルス感染症
働き方改革・人材不足の課題 等

- *豊かな心
- *仲間との絆
- *自立心
- *協調性
- *やりぬく力

を育む

- *感動
- *他者と関わる
- *チャレンジする
- *本物に触れる
- *命の大切さに触れる

體驗



トライやる・ウィークの充実に向けた支援

*チラシの配付

受け入れることのメリットを記載したチラシの配付

*事業所バンクの活用

市町単位で事業所バンクを作成

*コーディネート機能の強化

市町単位でコーディネーターを設置、コミュニティ・スクールの活用

*報告書・アンケートの電子化

報告書やアンケートを電子化することによる、教員の負担軽減

*地域や保護者への周知

トライやる・ウィークの魅力を紹介する動画を作成

*事業所バンクの活用

*コーディネート機能の強化

▶受入先の確保・調整を行う者
(コーディネーター等)を位置付ける。



▶地域学校協働本部と学校（コミュニティスクール）をつなぐ
地域学校協働活動推進員等が校区推進委員会と連携し、ねらいや
課題を共有することで、受入先の確保や取組の充実につなげる。

項目	コーディネーター の活用	事業所バンク の設置
市町数	5 [R6] 4市町	16 [R6] 15市町

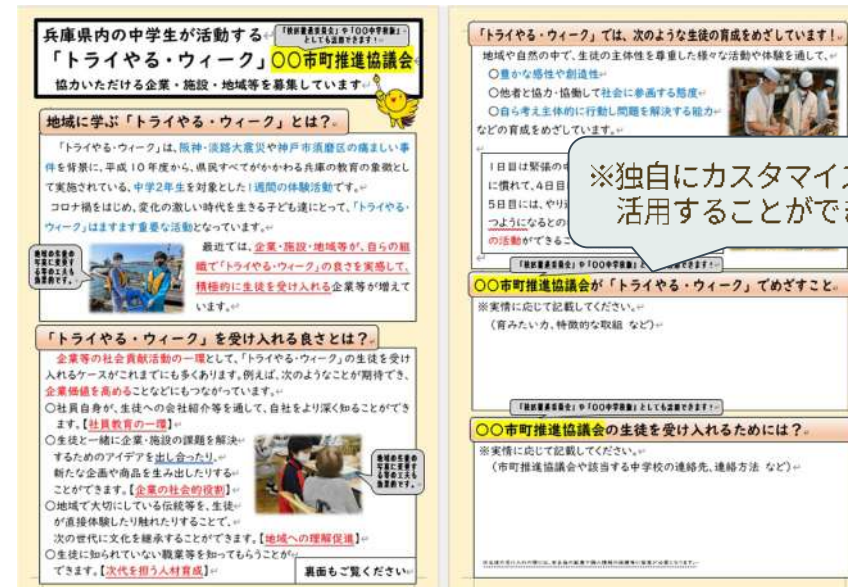
- ①地域学校協働本部事業コーディネーター
- ②PTA役員等
- ③市町教育委員会

・コーディネーターを活用した市町は5市町に留まっている。

・事業所バンクは、全市町の約4割で設置済。

*チラシの配付

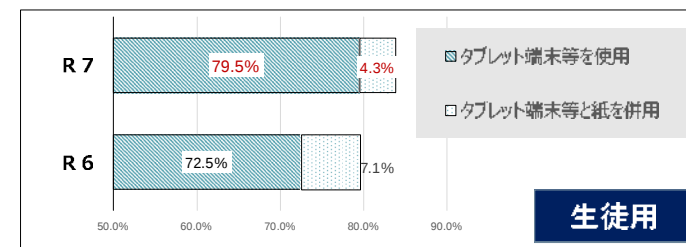
■5日間行うことの意義などを知らせるチラシ



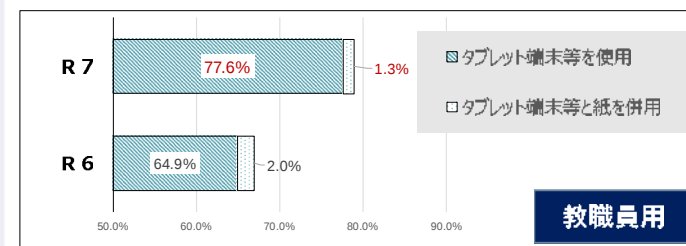
※独自にカスタマイズして活用することができます

*報告書・アンケートの電子化

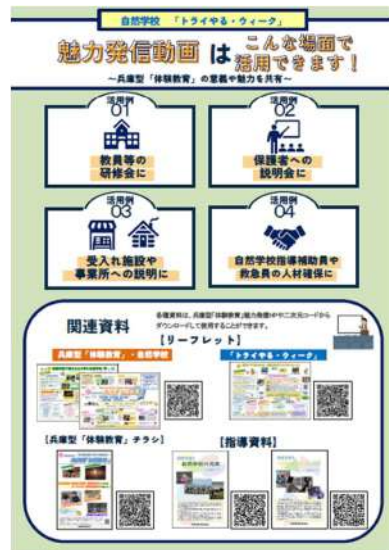
<Google/Forms>



生徒用



教職員用



兵庫県「体験教育」
魅力発信HP



持続可能な兵庫型「体験教育」に向けて

◆内容の充実に向けた視点◆

【学校全体で】

- ◇児童生徒の成長につなげるための実態の把握
- ◇児童生徒の成長過程や系統性を踏まえた教育課程の見直し 等

【個々の活動の指導・支援にあたって】

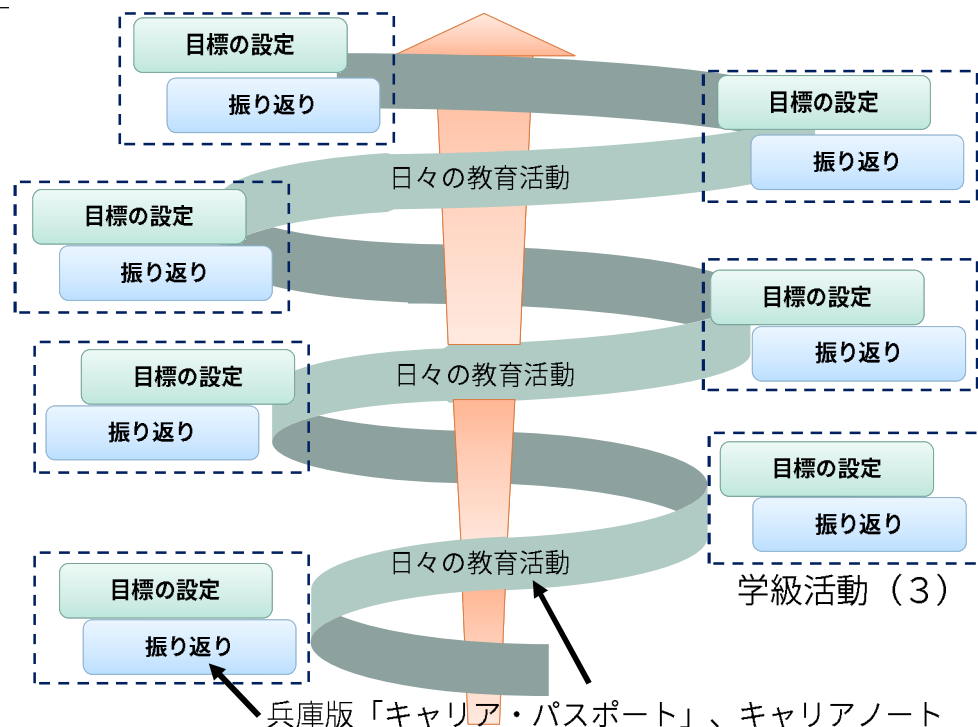
- ◇学校全体での児童生徒に身に付けさせたい具体的な力の共有
- ◇感動体験ができるための活動内容や場の設定の工夫 等

持続可能な兵庫型「体験教育」に向けて

◆持続可能な取組とするための視点◆

- ◇教職員の業務負担軽減に取り組むこと
- ◇これまで活用してきた内容の長所を継続的に有効活用し、改善点があれば実態に即して改善し、活用すること
- ◇外部人材等を効果的に活用し、児童生徒の活動内容を充実させるとともに教職員の業務改善に生かすこと
- ◇当該学年や担当だけではなく、学校全体で活動の推進に取り組むこと

キャリア教育とは・・・



高校生の感想

～小・中学校時代の兵庫版「キャリア・パスポート」を読んで～

自分がその時思ったことなどを文字に表して書いておくことで、次振り返った時にその時学んだことなどをもう一度振り返ることができるのがいいなと思いました。やりたい職業が変わっていたとしても、人のためにするという気持ちが変わってなくて良かったです。

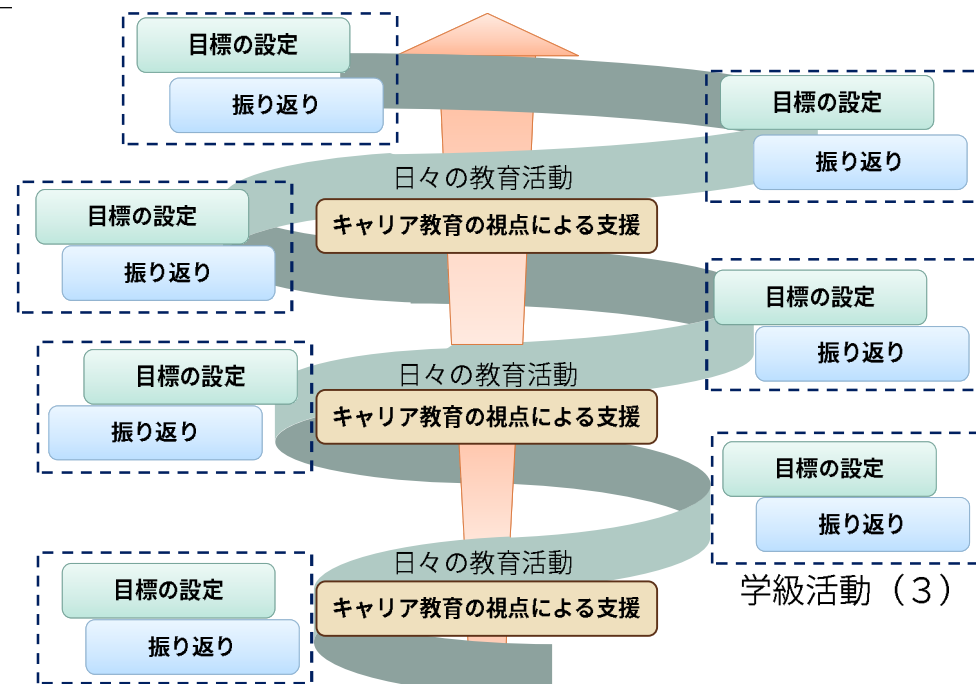
自分のやりたいことや夢が全て書いてあるので、読み返す度、夢を叶えるために頑張ろうと思えます。また、今日、先生からのコメントを読み返し、近くで励まされているような、温かい気持ちになりました。

キャリアノート

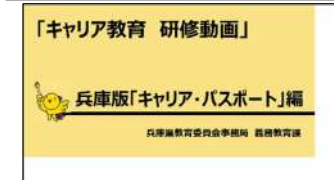
- ・キャリア教育の宝を記録するポートフォリオ
- ・学校の実情に応じて**自由にカスタマイズ**可能
- ・兵庫版「キャリア・パスポート」に記入するときの**基礎資料**として活用
- ・学年間で持ち上がり、卒業後は家庭で保管

兵庫版「キャリア・パスポート」

- ・キャリアノートの内容をもとに、一年間のキャリア発達を振り返り、記録するもの
- ・**県で統一した様式**（各学年A4表裏）
- ・書く時期は4月、10月頃、3月
- ・**学年間、校種間で持ち上がっていく**



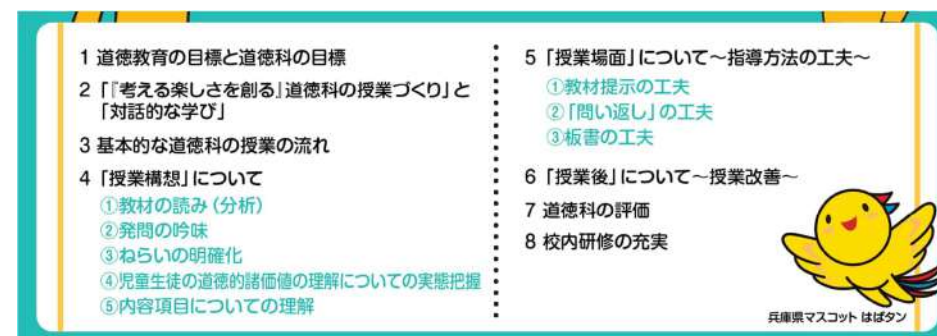
キャリアノート等の充実→振り返りの充実→新たな目標の設定



「小・中・高をつなぐキャリア教育の充実に向けて」リーフレット (R4～R6)

令和8年度テーマ

対話を通して考える楽しさを創る道徳科の授業をめざして



1 道徳教育の目標と道徳科の目標

【理論編】
音声入りスライド動画

【理論編】
スライド資料

②「問い返し」の工夫

5「授業場面」について ～指導方法の工夫～

②「問い返し」の工夫

【準添削】
音声入りスライド動画

【準添削】
スライド資料

「読本例」はこちら



授業記録



兵庫版道徳教育副読本

「こころ はばたく」 (小学校1・2年) : 8資料

「心 きらめく」 (小学校3・4年) : 8資料

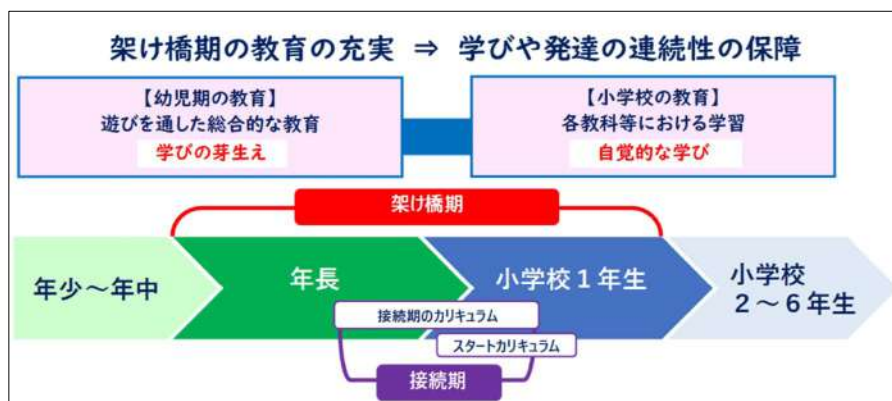
「心ときめく」 (小学校5・6年) : 8資料

「心 かがやく」 (中学校) : 14資料



はじめの100ヶ月

母親の妊娠期から幼保小接続期（いわゆる5歳児～小学校1年生）
→生涯のウェルビーイングの基盤となる重要な時期

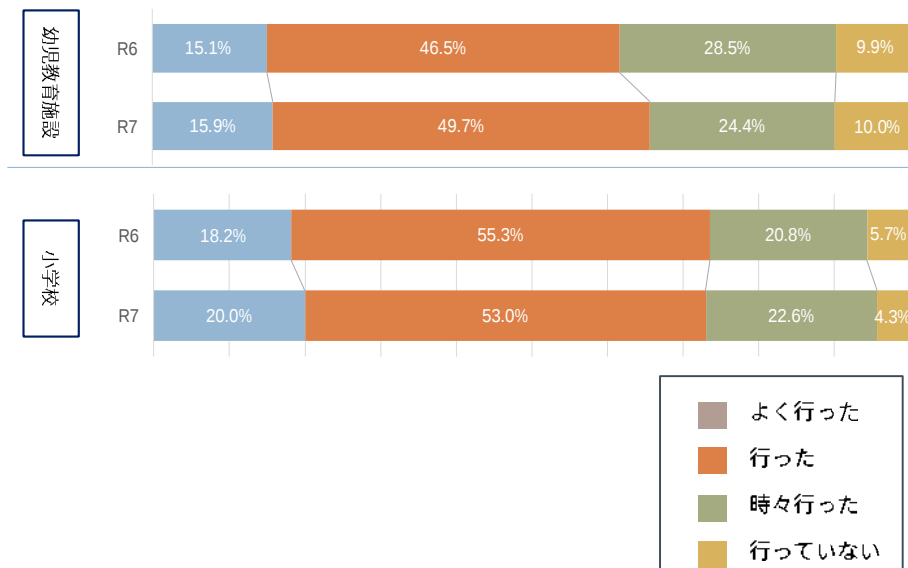


文部科学省作成動画

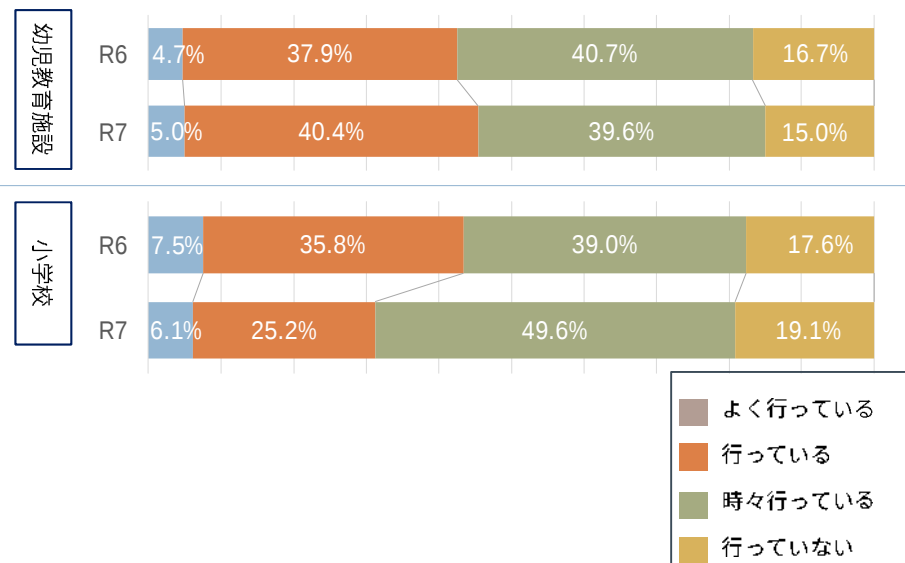
遊びは学び 学びは遊び
“やってみたいが学びの芽”

～「やってみたい」から始まる学びの芽（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成～

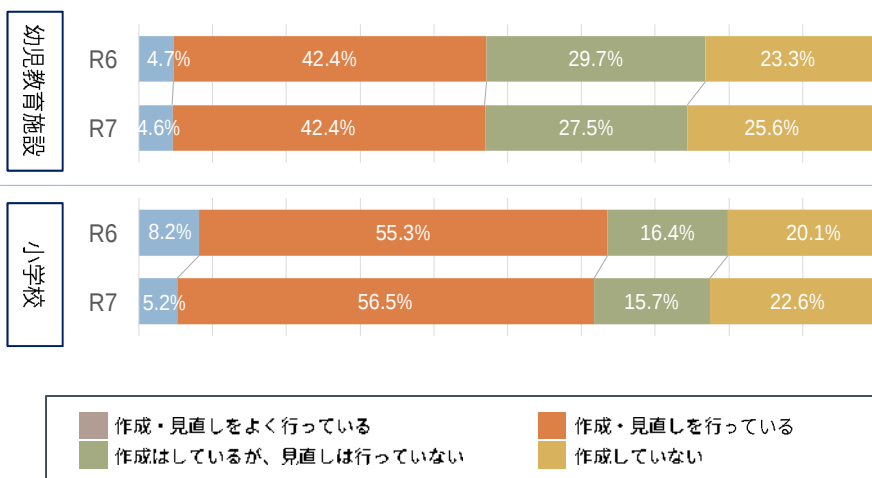
Q：幼稚園・認定こども園・保育所と小学校で交流活動を行いましたか



Q：幼稚園・認定こども園・保育所と小学校で目指す子どもの姿を共通理解していますか



Q：接続期のカリキュラムやスタートカリキュラムの作成・見直しを行っていますか



幼児教育と小学校教育の特徴



ひょうごっ子幼保小の架け橋教育支援センター

【業務内容】

- 県内の幼児教育施設・保育施設（幼稚園、認定こども園、保育所）の幼児教育の質の向上に関すること
- 幼児教育アドバイザーの派遣及び市町・幼児教育施設等への支援に関すること
- 幼稚園教諭・保育士・保育教諭に対する研修等、教員等の資質向上に関すること
- 幼保小の連携に関すること
- 幼児教育に関する調査研究と情報収集及び提供に関すること

等

幼児教育アドバイザー・派遣事業

各市町における幼保小の連携・接続や保育の質向上に係る課題解決に向け各市町に派遣

幼児教育資料・親子ノート「すくすく ひょうごっ子」



3～5歳の発達に
応じた関わり方

幼児教育において
大切にしていること

幼児教育 指導の手引き



- 1 幼児教育施設と小学校が保育・授業参観等を行うとき、子ども達をどのような視点で見るとよいでしょうか。
 - A ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(P7)を手がかりとして、見る視点の項目を絞ったり、抽出見に着目したりすることで、子どもの学びや成長を具体的な子ども達の姿から共有することができます。
- 2 地域の幼児教育施設間の交流活動をこれから始めたいのですが、どのように活動を展開していくとよいでしょうか。
 - A ○ 各園所の子ども達が、主体的に関わり合うことができるよう、チームを作って遊ぶことのできる環境を構成したり、振り回りの時間に、感じたことや考えたこと等を言葉で伝え合ったりするなど、子ども同士が刺激し合えるような環境を整えることが大切です。

幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ

幼児教育施設・小学校での入園・入学説明会、保護者会、研修等や自治体主催の教職員研修など幅広く御活用ください。
※本動画の複製、転載、引用等の際には出典を明記する必要があります。



幼児教育は何のため？ (約2分)
<https://youtu.be/MExUaZ6M3G0>
幼児期の大切な学びが分かる動画



「遊びは学び」ってどういうこと？ (約7分)
<https://www.youtube.com/watch?v=UxfA13XWfGo>
幼児教育施設においては、子供たちに遊びを通して資質・能力を育んでいること等について、子供たちの遊んでいる姿や幼児教育施設と小学校の先生のインタビューを交えながら解説しています。



「学びの芽」を育む園の工夫って？ (多様な遊び編) (約9分)
<https://youtu.be/VNt0WpuDd44>
幼児教育施設では、多様な遊びの中で、どのように子供たちの資質・能力を育んでいるのか、園長先生とベンちゃんがおムコバス形式で解説しています。



「学びの芽」を育む園の工夫って？ (どろだんご遊び編) (約7分)
<https://youtu.be/VuIP2CUKq-U>
どろだんご遊びの中で、どのように資質・能力が育まれているのか、解説しています。



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html

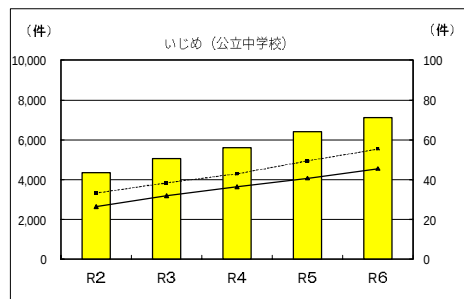
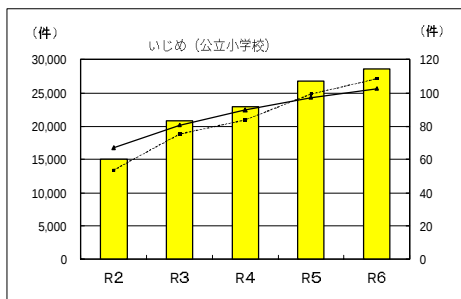


文部科学省HPから動画の視聴やチラシのダウンロードができます。

いじめの 認知件数

(令和6年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について)

学校種	全国(公立)			兵庫県(公立)		
	認知件数	前年度比	1,000人あたり	認知件数	前年度比	1,000人あたり
小学校	603,816	1.04	102.7	28,597	1.07	108.5
中学校	132,540	1.11	45.6	7,111	1.11	55.3
特別支援学校	3,467	1.08	23.1	53	0.38	8.3



<学校における平時からの備えについて>

いじめの重大事態チェックリスト調査

チェック項目	小学校	中学校	義務教育学校
学校いじめ防止 基本方針 について、入学時・各年度の開始時に 児童生徒、保護者、関係機関等 に説明している。	96.3%	97.3%	100%
いじめが犯罪行為に相当し得ると認められる場合には、学校としても、 警察への相談・通報 を行うことについて、あらかじめ 保護者等 に対して周知している。	94.7%	97.3%	100%
日頃の学校教育活動の中で作成、 取得したメモ等 をそのままにせず、各学校又はその学校の設置者において定める 文書管理規則等 に基づいて、適切に管理する体制を整えている。	96.9%	98.5%	100%
様々な情報を効率的に記録し、保存するため、統一のフォーマットの作成等 文書管理の仕組み を整えている。	96.1%	97.7%	100%

「いじめ対応マニュアル(改訂版)」

国が改訂した「生徒指導提要」の内容や、「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」改訂の内容、県いじめ対策審議会における委員からの意見等マニュアルを改訂(R7.3)

全公立学校の全教職員へ配布

<目次>

- I いじめ問題に関する基本的な考え方
- II 未然防止
- III 早期発見
- IV 早期対応
- V ネット上のいじめへの対応
- VI 組織的対応
- VII いじめの重大事態への対応
 - ◇ 事例研究
 - ◇ チェックリスト

- いじめの重大事態の定義、ガイドライン等に沿って学校等が行う調査や対応について、Q & A形式で紹介
- チェックリストや、校内研修等で活用できるよう事例を掲載



スクールカウンセラーの配置

加地リグマインド研修

年間2回以上実施
※連携小学校も対象

児童生徒向け教育プログラム

保護者向け研修会
年間2回以上実施
※連携小学校においても計画的に実施を工夫

自殺予防教育特別授業

年間1回以上実施
※全小・中学校で実施

兵庫版「自殺予防教育プログラム」

自殺予防教育：

子どもたちが「未来を生き抜く力」を身に付けることを支える教育

心が苦しいときは誰にでも
あることを理解

困ったときや悩みがあるときに、弱音を吐いたり、
人に頼ったりすることができるようになる

※小・中・高等学校を通じて自殺予防教育に取り組むことができるよう、
自殺予防教育に関する解説や授業案等の教材を県立総合教育センターHP
に掲載



【モデル地域】

●宝塚市立逆瀬台小学校
宝塚市立南ひばりが丘中学校
県立宝塚高等学校



次の日から子ども達同士の
会話の雰囲気が変わった。

効果を実感

●宋栗市立山崎西小学校
宋栗市立一宮中学校
県立山崎高等学校

あらためてコミュニケーション
を考える機会となった。



自殺予防教育について

自殺予防教育特別授業

年間1回以上実施
※全小・中学校で実施

- **全ての小・中学校**で**自殺予防教育等**を実施できるよう、
各校種に以下の時間を追加しています。

全小学校（義務教育学校（前期課程）を含む） **各5時間分**／年間
全中学校（義務教育学校（後期課程）を含む） **各3時間分**／年間

<留意事項>

- ・特別授業は**すべての学年で実施する必要はありません**。対象とする学年や学級については、学校の実態を踏まえ、**SCと相談の上、適切に設定**し、実施してください。
- ・自殺予防教育等とは、「自殺予防教育特別授業」に加え、「児童生徒等へのカウンセリング」、「ケース会議への参加」等に当ててことも考えられます。

自殺予防教育について

自殺予防教育特別授業

年間1回以上実施
※全小・中学校で実施

- **全ての小学校及び中学校**において、
自殺予防教育特別授業を年1回以上実施する。
- 連携小学校では、原則、拠点校に配置しているSCが実施する。
- **スクールカウンセラーと教員が連携**して、学校の実態に応じた内容で、実施する。
- 実施内容は**兵庫版「自殺予防教育プログラム」**等を参考に、自殺対策基本法を踏まえ、**各学校の実情に応じて組織的・計画的な内容構成を適宜工夫**する。
- これまでに実施してきた教育プログラムと自殺予防教育特別授業のテーマが重なることがあり得るが、自殺予防教育特別授業は、**スクールカウンセラーと教員が自殺予防に繋げることを意識して行う授業であり、教育プログラムとは、別の授業**になる。
- 児童生徒への授業で「**自殺予防**」の文言を使うことを必須としていない。

不登校児童生徒の状況

本県における不登校児童生徒数

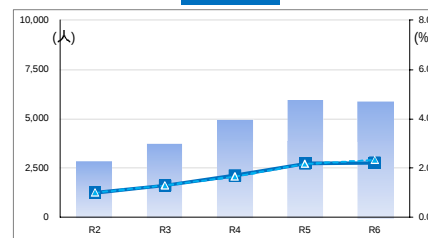
不登校児童生徒数

「令和6年度児童生徒の課題行動・不登校等生徒指導上の課題に関する調査結果」及び「令和6年度兵庫県下の公立学校児童生徒の課題行動・不登校等の状況について」より
※割合は、在籍者数に対する、不登校児童生徒数を示す。

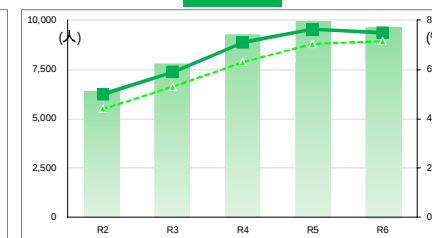
学校種	全国（公立）			兵庫県（公立）		
	人数	前年度比	割合（％）※R5	人数	前年度比	割合（％）※R5
小学校	136,645	1.06	2.33%(2.16%)	5,828	0.99	2.21%(2.19%)
中学校	207,540	1.00	7.15%(7.04%)	9,628	0.97	7.49%(7.64%)
高等学校	50,231	1.00	2.64%(2.63%)	1,178	0.91	1.28%(1.40%)
計	394,416	1.02	3.69%(3.57%)	16,634	0.97	3.43%(3.49%)

経年変化

公立小学校



公立中学校

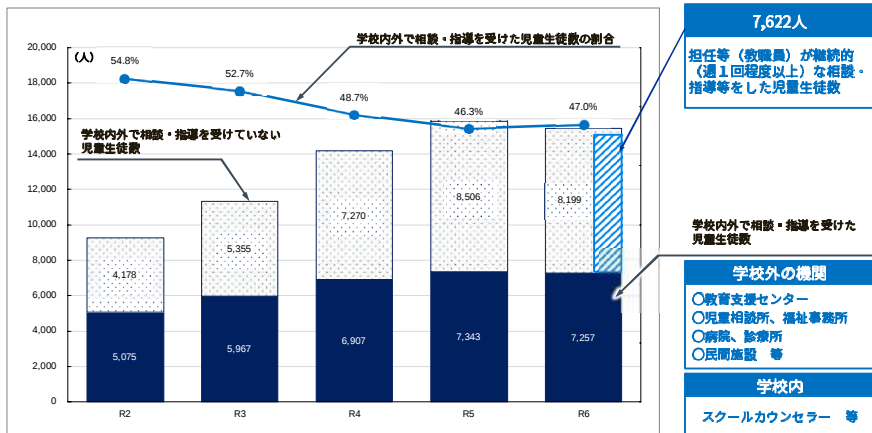


兵庫県人数 兵庫県割合 全国割合

小中学校の不登校児童生徒が学校内外の機関で専門的な相談・指導を受けた状況

学校内外の機関等で専門的な相談・指導の有無

「令和6年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について」より

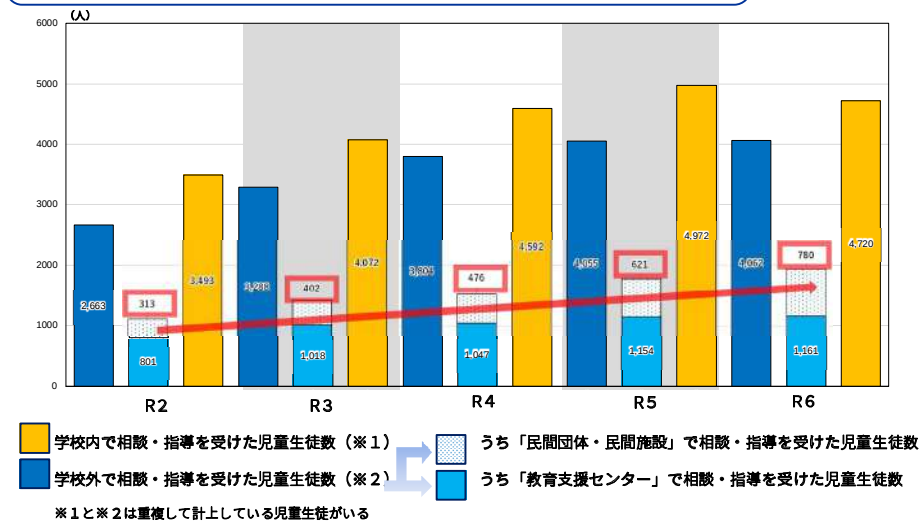


学校内外で相談・指導を受けていない児童生徒8,199人のうち、担任等（教職員）が継続的（週1回程度以上）な相談・指導等をした児童生徒は7,622人であるため、学校内外で相談・指導を受けた児童生徒数と合わせて、「学校内外の機関等や担任等から相談・指導等を受けている児童生徒の割合は96.3%」となった。

小中学校の不登校児童生徒が学校内外の機関で専門的な相談・指導を受けた状況

「令和6年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について」より

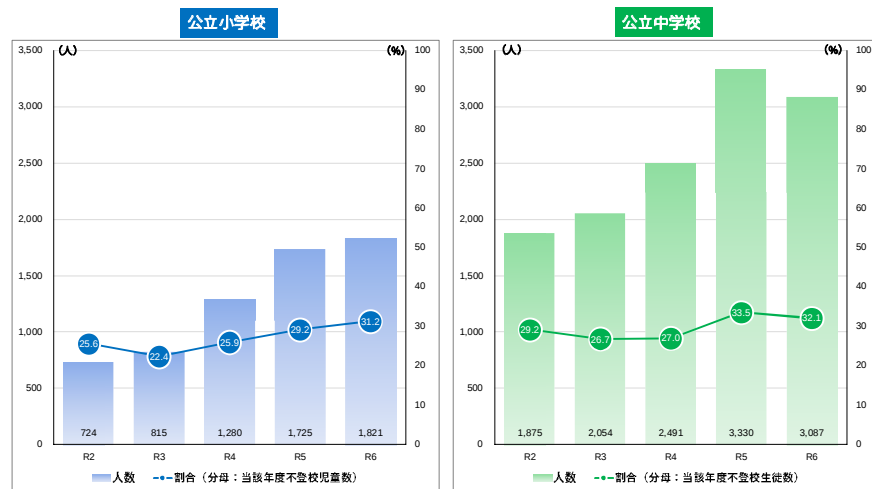
学校内または外の専門機関等で専門的な相談指導を受けた児童生徒の状況



小中学校の不登校児童生徒が学校内外の機関で専門的な相談・指導を受けた状況

「令和6年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について」より

不登校児童生徒への指導の結果、登校する又はできるようになった児童生徒数



不登校児童生徒について把握した事実

「令和6年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について」より

割合の高かった事実



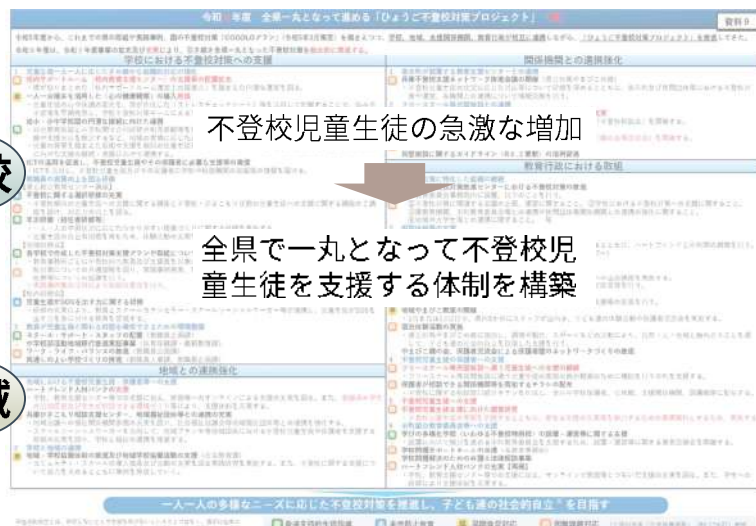
特徴的な事実

「親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった。」が、13.9%と中学校より高くなっている。

特徴的な事実

「いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった。」が、13.3%と小学校より高くなっている。

ひょうご不登校対策プロジェクト事業



關係機關

行政

学校

地域

不登校相談会の充実



相談会の様子



総合案内ブース



参加者交流会



悩んでいるのは1人ではないと勇気づけられた。
 カウンセラーの方の話が勉強になった。
 親の会の一瞥が今年できたとの事で、とても助かる。

不登校児童生徒支援員の配置拡充

現状・課題

現 令和6年度から不登校児童生徒支援員配置支援を開始した。不登校児童生徒支援に効果があり、学級担任の負担軽減につながっている。

課 令和6年度の不登校児童生徒数は、過去10年間で初めて前年度を下回った。一方で、不登校児童生徒の割合は、中学校では減少する中、小学校では依然増加傾向が続き、低年齢化も進んでいるため、更なる支援が必要である。

事業内容

依然不登校の増加傾向が続いている小学校について、不登校児童生徒支援員の配置支援を全校に拡充する。

事業スキーム 県の市町への補助事業

配置校	中学校：各校に1人 変更なし 小学校：各校に1人 R7…2校に1人
配置時間	週20時間[4時間/日×5日間]×35週
報酬単価	1,500円/時間 変更なし
負担割合	県：市＝1：1（1/2補助）
支援員の規定	地域人材を登用（教員免許不問） 変更なし

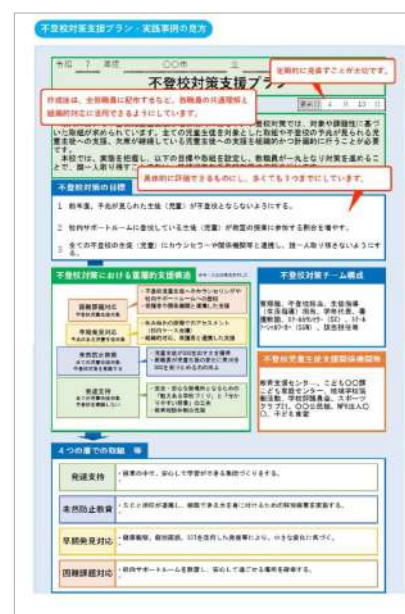
「運営上の留意点」の
周知により取組の普及

事例

県が取りまとめた「校内サ
ポートルーム運営上の留意
点」事例集を踏まえた円滑な
運営を図る

不登校児童生徒支援員を対象とした研修も引き続き実施する

不登校対策プラン事例集



全ての学校が組織的に行う

不登校
対策支援プラン
実践事例集

兵庫県教育委員会
生涯学習課

親の会と連携した「親の会等交流会」の開催



主催	県教育委員会	対象	親の会
- 親の会同士の交流により、情報交換 - 県から不登校対策の取組紹介 - 県と親の会による親の居場所拡充に向けた意見交換			

親の会を周知する取組

不登校相談会における親の会の周知

不登校相談会の会場において、県作成WEBサイトを閲覧できるブースを設置し、親の会の情報を検索できるようにする。

不登校相談会で現支援関係団体（県立施設、市町教育支援センター、フリースクール等民間施設）ブースに加え、親の会のブースを設置



県の不登校対策周知リーフレット及びガイドラインに親の会を追記

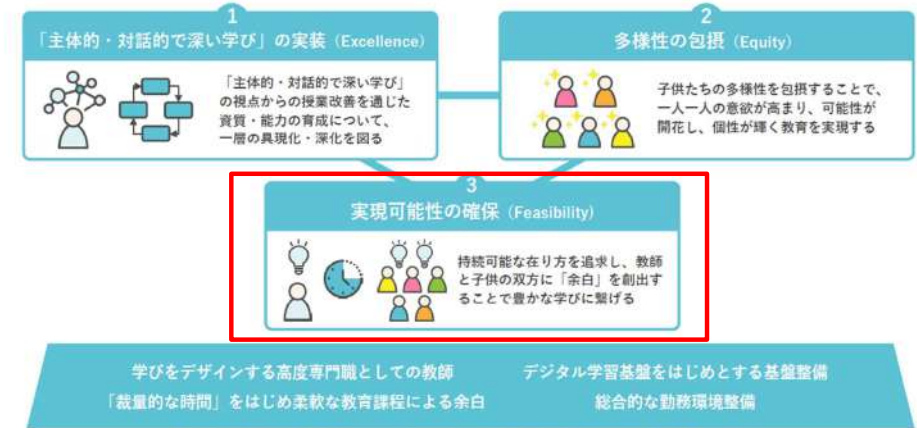


「不登校児童生徒への全県応援ネットワーク」リーフレットに「親の会」（WEBサイト）にリンクする二次元コードを追加。

「不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」（R8.1更新）に施設マップ（WEBサイト）に掲載している県内の親の会を紹介するページを追加

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～



多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに



生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む



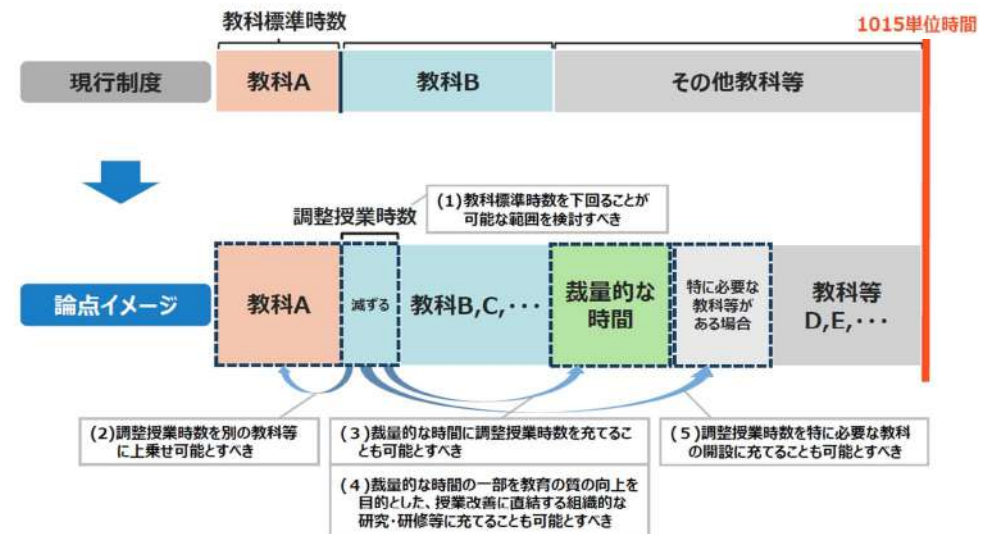
教育課程企画特別部会 論点整理（令和7年9月25日）

総合的な対応による、教育の質向上のための「余白」の創出



教育課程企画特別部会 論点整理 ポイント資料より抜粋

調整授業時数制度



教育課程企画特別部会 論点整理 より抜粋